

・待降後第一主日

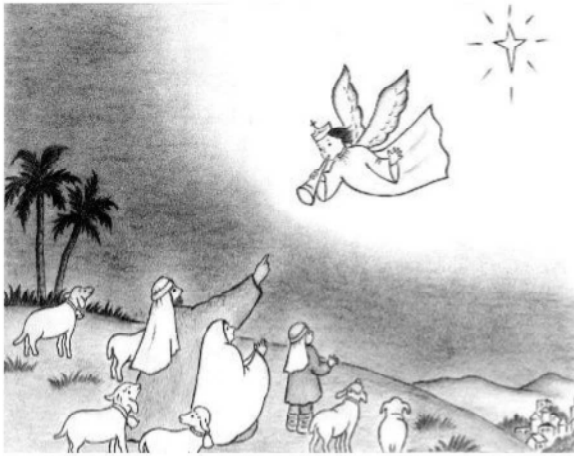
泉のほとり

今月の詩編「第一二〇編」

苦難の中から主を呼ぶと

主はわたしに答えてくださった。

「主よ、わたしの魂を助け出してくだささい
偽って語る唇から、欺いて語る舌から。」



あなたの王が来られる

今日は主イエスがお生まれになったことを祝うクリスマス礼拝です。皆さんも誕生日を祝ってもらうことがあるでしょう。誕生日が来ると、一歳年上になります。子供のころは、年上になると嬉しいです。でも大人の中には年を重ねることが嬉しくなくなつて、誕生日を喜ばない人もいます。

でも誕生日は年を取ることを祝うのではなくて、その人がいてくれることを喜び祝うのです。そしてその人がいるのは、神さまのおかげなので、神さまに感謝します。

人間の場合は、その人がいることを喜びます。それはわたしたちが地上で造られたものだからです。神さまが、土の塵で体を造り、鼻から息を吹き込んでわたしたちを造られたと、聖書に書いてあります。わたしたちの体は、この地上にあるものでできています。でもわたしという存在そのものは、神さまが造つてくださったものです。

でも主イエスは、神さまに造られたものではありません。神さまと一緒に、永遠の昔からおられたのです。ですから主イエスの場合は「いてくださる」ことを喜ぶのではなく、「来てくださった」ことを喜ぶのです。それがクリスマスの喜びです。

どうして主イエスは来てくださったのでしょうか。それはわたしたちを罪の支配から救い出すためです。罪というのは、悪いことをすることですが、その根っこにあるのは、わたしたちが自分のためにしか生きられないことです。自分のために

第一にするから、悪いことをします。他の人を愛したり、愛されることがあつても、結局は自分のためにしか生きられないので、本当に一緒に生きることができません。それが、わたしたちを捕らえている罪です。

その罪のために、わたしたちは滅びます。肉体の死を迎えると同時に、わたしたちの存在そのものも消えてしまいます。神さまに望まれ、愛されて、造られたのに、消えてしまうのです。だから主イエスが、わたしたちを罪から救うために、そしてひとりも滅びないで永遠の命に生きることができるよう、来てくださったのです。

今日の聖書の箇所には、「主はその聖なる住まいから立ち上がられる」とあります。神さまが立ち上がつて戦われるのです。わたしたちを罪の支配から取り戻すための戦いです。立ち上がつて始められた戦いは、必ず神さまの勝利で終わります。勝利されるまで、神さまがお座りになることはありません。途中で引くこともありません。一歩もお引きにならないで、神さまは戦われます。その戦いの始まりが、主イエスの誕生です。

銅い葉桶に寝かされた主イエスは、神さまが神さまであられることを示すしるしです。神さまが神さまであるとはこういうことだと、神さまがお示しになったのです。それがクリスマスです。だからわたしたちはクリスマス喜び、祝うのです。

(ゼカリヤ二・一四〜一七)



年末礼拝 (午前10時)

讃美歌 106番 112番
 説教 「星が先立って」
 聖書 マタイ書2章1節～12節 (新約P2)
 司式 宮間 彰広 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師
 説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲 「いずこの家にも」 J.バハベル

○ 讃美歌 106番

1. あら野のはてに 夕日は落ちて
 たえなるしらべ 天よりひびく

※ くりかえし

グローリア インエクセルシス デオ

グローリア インエクセルシス デオ

2. ひつじをまもる 野べのまきびと
 あめなるうたを よろこびきぎぬ ※

3. みうたをきぎて ひつじかいらは
 まぶねにふせる み子をおがみぬ ※

4. 今日しも御子は うまれたまいぬ
 よろずの民よ いさみてうたえ ※

アーメン

○ ピアノによる讃美

「ガヴォットと6つの変奏より 第1、6変奏」 J.ヘー

○ 聖歌隊による讃美

「ほめたたえよ創り主を」 E.クレマー

ほめたたえよ創り主を 清き御前にひれ伏し
 捧げまつれ身をも霊をも
 たぐいなき御名をあがめて

くすしきかな神の力 荒ぶる波をしずめて
 あやうきより御民を守り
 この世の悩みに勝たしむ

恵みの神 栄えの主を もろ声あげてたたえよ
 強き手もて導きたもう
 主にのみ御榮えつきぎれ つきぎれ

○ 讃美歌 112番

1. もろびとこぞりて むかえまつれ
 久しく待ちにし 主は来ませり
 主は来ませり 主は 主は来ませり

2. 悪魔のひとやを うちくだきて
 とりこをはなつと 主は来ませり
 主は来ませり 主は 主は来ませり

3. この世の闇路を 照らしたもう
 たえなる光の 主は来ませり
 主は来ませり 主は 主は来ませり

4. しぼめる心の 花を咲かせ
 めぐみの露おく 主は来ませり
 主は来ませり 主は 主は来ませり

5. 平和のきみなる み子をむかえ
 救いの主とぞ ほめたたえよ
 ほめたたえよ ほめ ほめたたえよ

アーメン

聖餐曲 「クリスマスの調べ」 W.ルードニッ

後奏曲 「甘き喜びのうちに」 J.S.バハ

今日のお知らせ

○ 礼拝の報告の中で、幼児の祝福式を行います。

幼児 荒美 成志 2019年9月10日生
 両親 荒美 雄星・来佳

○ 今日 是年末礼拝です。教会学校の分級が終わってから、ホールで有志による餅つきをします。

○ 正午からカレブの会の座談会をカナルームで行います。

○ 先週のクリスマスイブ礼拝は、2回の礼拝とも、祝福されたよい礼拝でした。奉仕して下さった方々、ご苦勞様でした。出席者は第一が450名、第二は420名とのことです。

○ 事務所は1月7日まで休みです。教会の建物に入れませんので、ご注意ください。四日の土曜日は礼拝準備のために、午後スタッフが出勤します。

○ 来週は新年礼拝です。朝10時からの1回礼拝です。

